



府中国際交流サロン  
FUCHU INTERNATIONAL SALON

# くろするろ〜ど

2023/3・4月合併号 第280号



府中国際交流サロンは、府中に住む日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
て楽しく生活していくことを願って、活動を  
続けています。

## かいほうし 会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

### 〜サロン月間カレンダー3・4月〜

### 「いよいよフチャールで

### 活動が始まります」

#### ■フチャール移転及び開室

移転日時：3月12日（日）午前8時半〜午後1時  
開室日時：3月22日（水）午前9時半

実行委員会会長 和田 泰弘

#### ■桜まつり出展

日時：3月25・26日（土日）午前9時〜午後4時  
場所：府中公園（注：雨天のため2日間とも中止）

#### ■文化交流部会〜民謡流し

日時：3月25日（土）午後1時〜3時  
場所：桜通り（注：雨天のため中止）

#### ■日本語学習会

日時：4月7日（金）〜4月28日（金）  
月（午前・午後）水（午後）金（午後・夜）  
場所：フチャール会議室

#### ■実行委員会

日時：3月22日（水）・4月12日（水）  
午前10時半〜昼12時  
場所：フチャール会議室

#### ■文化交流部会ダンス教室

日時：4月の毎水曜日・午後1時半〜3時  
場所：未定

府中市本庁舎の改築工事に伴い、府中国際交流サロンはフチャールへ移転することが決まり、昨年初頭に移転準備委員会を立ち上げ1年にわたり引越しの準備を進めてきました。そしてこの度、ボランティアの皆さま、市の多様性社会推進課のご協力のもと、3月12日（日）に無事移転作業を終了しました。翌13日（月）から荷解き作業が始まり、新しい事務室と倉庫への収納もほぼ完了しました。ご協力いただいた皆さま方には、厚く御礼を申し上げます。

3月22日（水）に事務局が開室し、4月7日（金）から日本語学習会をはじめとする活動が再開されます。フチャールでは、会議室、学習室、学研室等が府中国際交流サロンの主な活動の場となります。北第2庁舎では、四半世紀にわたりお世話になりましたが、4月からは、フチャールで府中国際交流サロンの新たな1ページが始まります。ボランティア活動の中心である日本語学習支援を通して、学習者とボランティアの交流がこれまで以上に活発になりお互いの絆が深まっていくことを願っています。

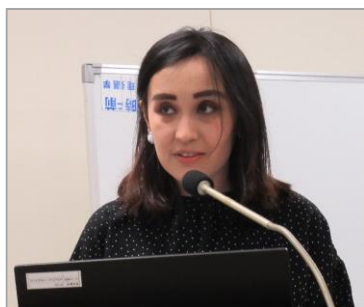
\*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。



# 世界の文化

## 「わたしのふるさと タジキスタン」

ハイトワ・ニゴラさん (タジキスタン)



皆さん、こんにちは。タジキスタン出身のハイトワ・ニゴラと申します。

タジキスタンには沢山の民族が暮らすので多民族国家と言

います。私はタジク人ですが、ウズベク人やロシア人の友達が沢山います。私の趣味は旅行や音楽、本を読むことです。大学でファイナンスを専攻していました。大学を卒業した後、旅行代理店で2年働きました。また語学教育センターで英語も勉強していました。3年前に結婚し、2019年12月に日本にきました。私は日本が大好きです。日本の食べ物でお寿司が好きです。毎週1回お寿司を食べに行きます。これからタジキスタンについて話したいと思います。

### タジキスタンの基本情報

- 面積：約14万3100平方キロメートル（日本の約4割）
- 人口は約1000万人（2022年：国連人口基金）
- 首都：ドゥシャンベです（英語表記：Dushanbe）
- 民族はタジク人79.9%、ウズベク人15.3%、ロシア人1.1%、キルギス人1.1%、他。
- 言語：タジク語
- 宗教は、タジクの中ではイスラム教スンニ派が最も優勢で、パミール地方にはシーア派の一派であるイスマーイール派の信者も多いです。

タジキスタンは中央アジアの南東に位置する内陸国であり、北でキルギスと、南にアフガニスタン、北西でウズベキスタン、東で中国とそれぞれ国境を接している。タジキスタンの公用語となっているタジク語は、インド・ヨーロッパ語族イラン語派に属し、アフガニスタンのダリー語、イランのペル

シア語とともに、新ペルシア語を基礎とする言語である。ロシア語も広く使われている。英語は第3外国語となっています。

タジキスタンは日本と同様に四季があります。タジキスタンの国土の93パーセントが山岳地帯でその約半分が3千メートル級の山で覆われているため、場所によって気温差が激しいです。例えば、首都（ドゥシャンベ）の夏の平均気温は22度で、最高45度まで上がる時期もあります。日本の夏と違って湿気はなく、乾燥しています。冬は最低気温がマイナス8度になる事もある。山岳地帯のブルンクリ湖では冬の最低気温がマイナス60度まで下がることもある。

皆さんも機会がありましたら、ぜひタジキスタンにきてください。



出典：外務省ホームページ

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/tajikistan/index.html>

## ～新年サロン交流会報告～

### 「初めてのサロン交流会」

金曜午後ボランティア 寺岡 奈都子

1月21日、新年のサロン交流会が開かれました。すべての曜日の学習者、ボランティアの皆さんが集まる一大イベントで、9月からボランティアをスタートした私にとっても初めての交流会でした。

13時半スタート。和田会長と司会の安島さんのあいさつから始まり、学習者の自己紹介タイムです。名前と出身国、好きな食べ物を伝えるだけなのですぐ終わってしまうかと思いきや、お寿司人気の高さに「どんなネタが好きか」という話題の広がりも見られました。

ボランティアの皆さんの自己紹介はさらにヒートアップして、海外の料理を作ることにハマっている方、健康診断の結果、好きなものがあまり食べられなくなった方、自分じゃない誰かが作るものなら何でも美味しいと感じる方まで様々で、全ての自己紹介が終わる頃には、緊張した面持ちもとけて、和やかな雰囲気となり、二次会のじゃんけん大会へとつなげました。

休憩時間中に、みなさん興味津々で景品を物色していたので、じゃんけん大会は大盛り上がりでした。



じゃんけん大会に熱中する学習者の方々

た。和傘や、ひな人形、羽子板といった目玉もあり、お目当ての賞品をゲットできるか真剣勝負でした。

あっという間の二時間でしたが、そのたった二時間のために、前日は景品を一つ一つラッピングし、当日は12時半に集まって会場設営と、和気藹々としながらも念入りに皆さん準備をしておられました。「喜んでほしい、楽しんでほしい」という気持ちの元、交流会を開いているのだなと思いました。そ

の気持ちが一人でも多くの学習者さんに伝わるといいなと思ひ、また、より多くの学習者さんが、このサロンに触れ、ここで交流し、絆を深めていってほしいと心から願います。ボランティア39名、学習者17名、合計56名の交流会、本当にお疲れ様でした。



新年サロン交流会に参加した全員





## 「三中訪問しました」

金曜午後ボランティア 笠間 豊子

外国の方のお話を聞く会ということで、2月3日  
三中（府中市立第三中学校）を訪問しました。

学習者さんは、イタリアのアルベルト ピッツオ  
さん、インドネシアのミア ユスフさんとラティ  
マドヤ セプティアナさん。ウクライナのノシキナ  
マリナさんとディモチェンコ オレクサンドラさ  
ん。中国の周鳳玲さん。そしてその方たちの担当ボ  
ランティア、市の職員の方との13人で午後1時過ぎ  
に学校に到着。学校は最近改築されたようでした。

3年生が6クラスあり、それぞれ3クラスをまわ  
り、1クラス20分間の話をしました。英語で話され  
る方は、英語の先生が通訳をされたようです。私は  
中国の周さんを担当です。

最初には話すクラスの方が私たちを迎えにこられ  
て、教室の前まで行くとドアが開いていて、30人位  
の生徒全員が一斉に私たちを見えています。周さんは  
その視線に驚き、「ダメ、ムリ。ムリ」と連発して  
いましたが、やっと中に入りました。自分が想定し  
ていたのとは全く違っていたのでしょ。

学校側で学習者とボランティアのネームプレート  
を用意して下さったので、それを使いお互いに自己  
紹介。画像も何もありませんでしたので、生徒さん  
たちからの質問をいただいていたので、それにそっ  
て私が周さんに質問して行きました。

中国から日本に来た時の印象は・・・

中国で人気のスポーツは・・・

日本に来て驚いたトイレ事情は・・・ 等々。

次のクラスに行った時には、最初に生徒全員で  
中国語で挨拶をして下さり、彼女はうれしそうに「ニ  
イハオ」と中国語で返していました。ダメ、ムリと言  
っていた周さんですが、すっかり慣れてジェスチャー  
入りであったり、黒板まで使い説明。

何とか3クラス、はらはらしながらも楽しく終え  
ることができました。学校側の万全の配慮に感謝、学

習者の周さんとボランティアの私にとって良い  
経験をさせていただきました。ありがとうございました。



周鳳玲さん(左)と笠間さん



参加された学習者とボランティアの皆さん



# 皆さんよろしく◇学習者紹介

プラバデヴィ プラディーシュさん(インド)



## 「次女を府中で産みました」

インドの南部タミルナードゥ州バンガロールから、2017年にご主人の仕事の関係で来日して、磯子に住んでいました。

妊娠したので、一人で国に帰り、長女を出産してから2019年再来日しました。その時は日立に住んでいましたが、5ヶ月程インドに帰り、10月に再来日して府中に住み、今に至っています。

次女は日本で産むことに決め、東府中病院で出産しました。病院には英語の解る看護師さんが一人いたので、とても心丈夫でした。お産自身も軽くてとても楽でした。その子も2歳になり、5歳の長女と共に保育園に通っています。

大学は商学部で会計学も学び、卒業後は一年間会社で働いていましたが、バンガロールで働いていたご主人と逢い、結婚しました。

趣味はタミールの映画や歌を見る事です。また、テラスでミント、トマト、唐辛子を栽培しています。今はミシンがないので、編み物をしてソックスなどを作っています。金魚も3匹飼っているそうです。

インドではフレンドリーな性格ですが、日本では友達も少なく、日本語を話さなければならないこともあり、誰とも話したくない時もあるそうです。

サロンは楽しく、週3回勉強しています。早くお友達が沢山来るといいですね。

(取材・文構成 堤林)

# 勉強会報告

だい かいべんきょうかいほうこく ついき  
「第102回勉強会報告・追記」

昨年12月3日(土)、長年サロンで日本語教授法研修を担当していただいた柏崎雅世先生を囲んで勉強会を開催しました。その報告を『くろする〜ど』1月号に掲載しましたが、先生より、一部説明を加えた方がよいでしょうという指摘をいただきました。先生から追記の原稿をいただきましたので、ここに改めて掲載いたします。

柏崎先生より指摘をいただいた箇所は、報告原稿中の複合動詞の、II-⑤『『新しい用法の出現』-見切れる、焼きつく、折り返す、など本来は誤りとされていた用法が現在は使われている』です。先生からいただいた追記の説明は以下のとおりです。

折り返す、焼きつく、など、本来は誤りとされていた用法や、従来認識されていなかった用法が、現在は使われている。例えば、様々な用法がある「折り返す」の中で、本来は「折り返し、ご連絡/お電話します」のように、「折り返し」の後に具体的な動作を伴う使い方があった。しかし、現在は「すぐに折り返します」のように単独の動詞として使われるようになってきている。また、「焼きつく」は従来「エンジンが焼きつく」「光景が目に焼きつく」などの用法だったが、電子機器が一般的になった現代では、「画像がディスプレイに焼きつく」などという使い方も出てきている。

詳しい説明を寄稿して下さった柏崎先生には、誌面を借りお礼を申し上げます。(研修部会)

# おし かた こんな教え方しています

～ 9 ～

すいよう ご ご 水曜午後ボランティア 原 節子

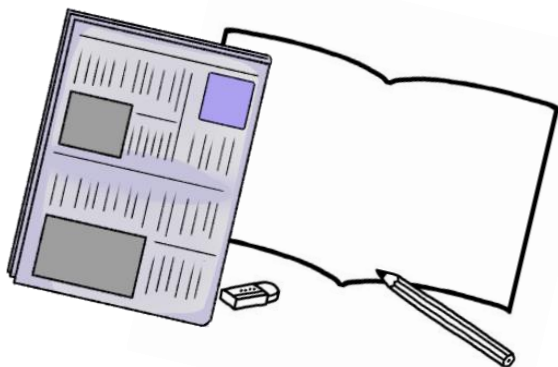
にほんごきょうしつ わたし きほんてき こころ  
日本語教室で私が基本的に心がけていることは  
次の通りです。

- ※ 早い時点で学習者の日本語の能力を掴む  
(出身国、家族、趣味などの話題を通して)
- ※ 学習目的を確認して学習の方向性を決める
- ※ 学習者に充実した時間だったと感じてもらえるように努める

げんざい かんじ ひょうげんりよくこうじょう め ぎ がくしゅうしゃ しん  
現在、漢字と表現力向上を目指す学習者と、新聞記事、随筆、詩等から得た教材を使っています。新聞記事は日本の文化、習慣を扱う内容や読者投稿欄の親しみやすいテーマを選びます。新聞記事は難解な漢字が多いので、別紙に抜き出し、学習時に読み仮名を書けるように準備します。熟語は一語ずつの読み方にも触れます。

ずいひつ しなご しゅご ぶん くぎ め にく  
随筆、詩等で主語のない文や区切り目がわかり難い長文は注意深く質問し、正しい文脈把握に導くようにします。また微妙な感情、状況表現も理解しにくいようですが、場面設定の短文などを使って理解へとつなぎます。そのとき説明が長くならないように気をつけます。読後はテーマについての質問応答で理解度を確認します。

きょうあんどう すす おお つね ほんせい く かえ  
教案通り進まないことも多く、常に反省の繰り返しです。学習者の意欲に励まされて頑張っています。



# とう こう 投◇稿

えききただい ちようしゃ がいがくしゅうしつ かいぎしつ  
「駅北第2庁舎3階学習室(会議室)、  
ありがとう&さようなら」

げつ すい きん ご ご 月・水・金・午後ボランティア おがわ ひでき  
小川 秀樹

ふちゅうこくさいこうりゅう い か (以下サロン)は1995年にグリーンプラザ内会議室を主な会場として活動を開始。そして1997年7月に現在の駅北第2庁舎3階の一部が常設の活動拠点として開設され、今に至る。(サロン10周年記念誌より)

せんぱん ほんちようしゃかいちく ともな きょうせいぶきょくとう いてん  
先般、本庁舎改築に伴う行政部局等の移転による3階エリアの見直しとなり、サロン活動拠点は中河原駅前「フチュール」へ移転することが発表されました。2月をもって駅北第2庁舎での活動は終了となりました。

おも あしか ねんかん にほんご がくしゅうかい きょうじゅほう けんしゅうかい こうえんかい ぶんかこうりゅうはっぴようかい しょかいぎ などなどたいへん  
思えば足掛け26年間、日本語学習会や教授法研修会、講演会、文化交流発表会、諸会議、等々大変お世話になりました。例えば、コロナ禍が拡がる前、2018年度の学習会やその他活動では学習者とボランティア合計で延べ約1万名の方々の利用があり、常設活動拠点の安心感が浸透していた結果だと思えます。

しん拠点「フチュール」には初めてのこともあり、不安な思いの方もいるでしょう。キーステーションの府中駅と比べれば、バスなどの交通利便性は多くないようです。しかし「住めば都」、通り慣れるようにしましょう。

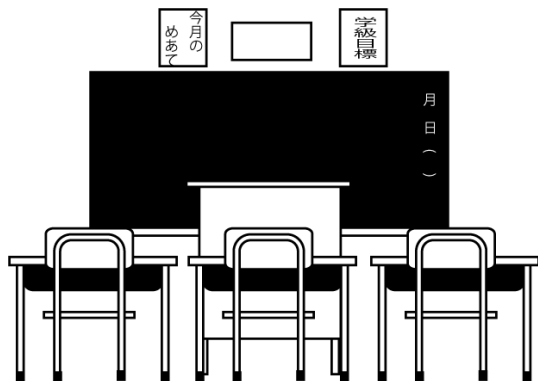
えききただい ちようしゃ ねん げつ あいだ  
駅北第2庁舎、25年8ヶ月の間、ありがとうございました。大変お世話になりました。

おやっ、どこからか声が聞こえる・・・「また戻ってこられるといいね！」

# みんなのひろば

## 「土曜日の学習会が始まります」

5月13日(土)から、試験的に土曜日の日本語学習会を始めます。昨年、フチュール移転に際し、学習者の皆さんに日本語学習会の希望曜日のアンケートを実施したところ、土曜日を希望される方が多くいました。それを受けて、5月から9月まで、毎月第1、第3土曜日(5月は13日と27日、8月は夏休み)の2回、試験的に日本語学習会をフチュールで開きます。学習を希望する方は、自分の所属する学習会の担当ボランティアさんに伝えてください。詳しいことは、事務局で聞いてください。(編集部)



## 「日本語を誌上で学習しよう！」

今回は、「みんなの日本語」初級Ⅱ標準問題集の第37課からの出題です。日ごろの学習の成果を試してみましよう。

### ■問題

例のように、( )に適切なことば(助詞)を入れてください。

例) 2階の窓(から)海(が)見えます。

- 1) 彼女( )スキー( )誘いたいです。
- 2) 日本語を英語( )翻訳します。
- 3) 石油はサウジアラビア( )輸入しています。
- 4) わたしは彼女( )結婚( )申し込もうと思っっています。
- 5) わたしはタワポンさん( )結婚式( )招待するつもりです。
- 6) わたしは妹( )傘( )なくされました。
- 7) 昔日本では建物や橋を木( )造っていました。
- 8) ワインは何( )造られるんですか。

\* 答は編集後記の後にあります。

# 「作文コンクール募集のお知らせ」 ( 学習者向け )

## ～編集後記～

第二十六回、世界の日本語学習者・研究者『日本語作文コンクール』の募集が行われています。

- 作文のテーマは、『日本語』と私と、「あなたの国にとって、『日本』は、どんな国ですか？」の2つです。
- 文字の数は、本文だけで「800～1,500」です。
- しめきりは、2023年4月27日(木)です。
- 賞品
  - ◇ 一等賞 = 2人(各テーマ 1人)  
(賞状+「日本招待一週間」、または賞金・20万円)
  - ◇ 二等賞 = 5人(賞状+賞金・10万円)
  - ◇ 三等賞 = 20人(賞状+賞金・3万円)
  - ◇ 努力賞 = 40人(賞状+賞金・1万円)
- 入賞者発表 2023年7月
- 『くろすろ一ど』への掲載予定  
作文は、入賞者の発表後に、作者の了解をいただき『くろすろ一ど』に掲載予定です。
- 作文に「国名、氏名、年齢、性別、府中国際交流サロン、連絡先・メールアドレス」を書いてください。
- ファイルで作成し、事務局に、メールで送付してください。事務局でまとめて送付する予定です。

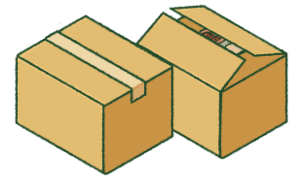
★詳しいことは、事務局に、ご相談いただくか、以下をご覧ください。

[https://www.nihonwosiru.jp/oshirase/202211\\_02.php](https://www.nihonwosiru.jp/oshirase/202211_02.php)

(編集部)

サロンの移転が無事に済みしました。3月12日には、役員と三竹さんと北第2庁舎の事務室と倉庫からの搬出作業に立ち合い、すべて搬出されたことを見届けました。今月号に寄稿くださった小川さんの文中に、「1997年7月に現在の駅北第2庁舎3階の一部が常設の活動拠点として開設され、今に至る。」とありますが、第2庁舎を後にする前に、ガラんとした事務室、倉庫、静まり返った学習室をふと覗くと、四半世紀にわたる様々な活動の光景が走馬灯のように脳裏を駆けめぐり、感慨もひとしおでした。

4月からは、サロンはフチュールで新たな一歩を歩み出します。日本語学習をはじめ、いろいろな活動がこれまでに以上で活発になり、ボランティアと学習者の皆さんの絆が一層深まることを願っています。(和田)



「日本語を誌上で学習しよう！」の答

- 1) を、に 2) に 3) から 4) に、を  
5) を、に 6) に、を 7) で 8) から

【創刊】 1997年11月

【編集】 編集長：和田泰弘

会報部会：堤林・和田・岩城・末田

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：[mail@fuchukokusai.gr.jp](mailto:mail@fuchukokusai.gr.jp)

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

